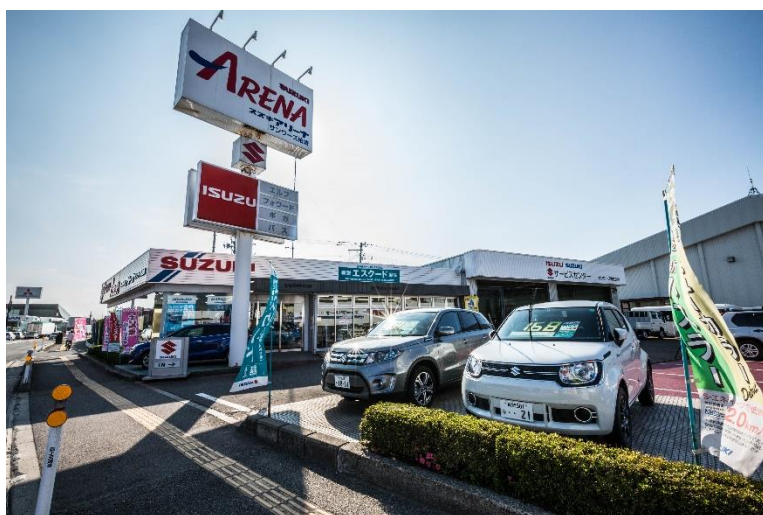

エコアクション2.1

環境経営レポート

[対象期間：2023/1/1～2023/12/31]



【発行】2024年6月12日

サンワーズ株式会社

目次…

会社概要	1
環境経営方針	2
実施体制	3
環境経営目標とその実績	4
I 過去の実績値	
II 中長期の環境目標	
III 2022/1/1~2022/12/31 数値実績	
環境経営計画の内容・実績と評価・次年度の取組	7
I 総評	
II 項目別取組内容・結果と評価	
III 来年度の取組内容	
代表者による全体評価と見直しの結果	10
環境関連法規の遵守状況及び違反、訴訟の有無	10
2023年環境経営目標設定書	11
取組んだ社会環境活動	12

会社概要

I 事業所名・所在地

サンワーズ株式会社 対象事業所

本社 柏崎市田中1番24号

スズキアリーナサンワーズ柏崎

柏崎市宝町3番39号

II 代表者氏名

代表取締役社長 三井田 勝毅（EA21統括責任者）

III 事業の内容

自動車販売・整備業、損害保険代理店業、葉書・切手・印紙販売業

IV 環境管理責任者

専務取締役 三井田 秀毅

連絡先 サンワーズ株式会社 本社 電話 0257-23-1300

EA21担当者 EA21環境事務局 三井田 秀毅（兼務）

スズキアリーナサンワーズ柏崎 電話 0257-24-5530

EA21担当者 EA21環境事務局 三井田 達毅（A常務）

V 事業の規模

従業員数 52名（本社 38名 アリーナ 14名）※2024/6/1現在

延べ床面積 3,358m²

VI 事業年度

1月～12月

VII 対象範囲

全組織・全活動

※無人事業所は事業に使用していない為、対象としない。

環境経営方針

I 環境経営方針

弊社は昭和32年創業以来、技術の向上を心掛け、社会活動を通じ常にお客様の信頼を得、交通安全社会を願い今日に至っております。また自動車業界では安全性・環境性能の向上の為、自動運転、ハイブリッド等の最先端の技術が搭載され、さらに技術革新が進んでいます。

当社はその技術を学び習得しながら、自動車販売整備を通じ、顧客に安全安心を提供し、地球環境にも貢献ができる企業造りを目指します。

また、自ら考え行動していく『考える組織』を継続し、事業活動において環境負荷の低減を図り、自主的、積極的に社会経済システムと自然環境とのバランスのとれた循環型社会の構築を全社員一丸となり、目指します。

II 環境保全への行動指針

1. 具体的に次の事に取り組めます。

- ①化石燃料における二酸化炭素排出量の削減を推進します。
- ②電力の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減を実施します。
- ③廃棄物の減量に取り組めます。
- ④省資源、節水に積極的に取り組めます。
- ⑤環境に配慮した製品の販売と整備の促進に心がけます。
 - ・自動車整備時におけるリサイクル部品の使用率を高めます。
 - ・エコカー販売の現状を調査し、エコカーの販売比率を高めます。
- ⑥化学物質を適正管理します。

これらについて環境経営目標・環境活動計画を定め、定期的に見直しを行い、環境経営の継続的な改善に努めます。

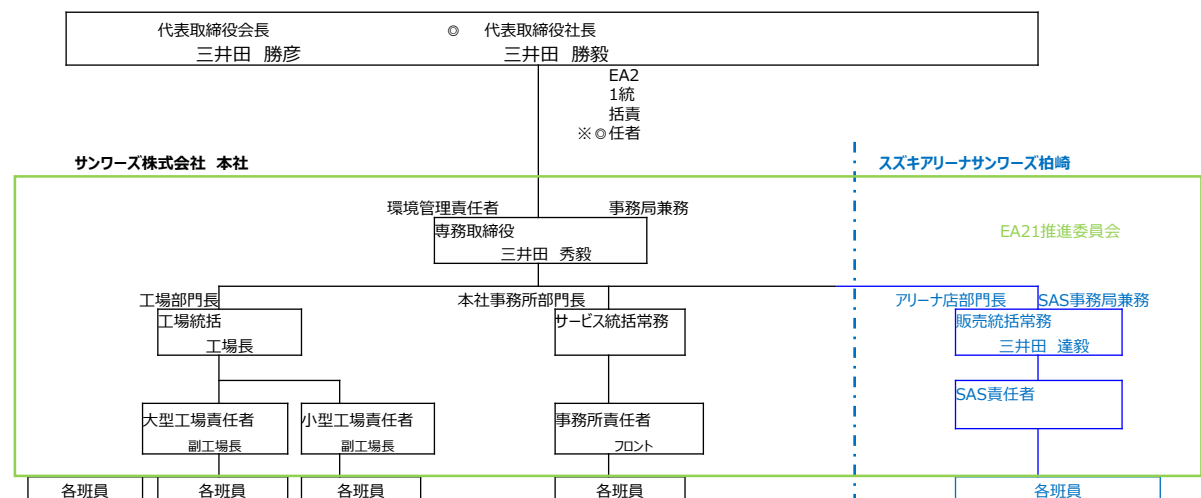
2. 環境関連法規及び当社が同意した各種協定を遵守します。

3. 全従業員に対して、この環境方針の周知徹底を図るとともに、環境に関する教育を計画的に行い、環境保全活動の向上に努め「環境レポート」に取りまとめ、公表します。

2022年1月4日改定 代表取締役社長（EA21統括責任者）

三井田 勝毅

実施体制



	役割・責任・権限
代表者 社長	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施に必要な、人、設備、費用、時間、技能・技術者を用意 - 経営における課題とチャンスの明確化 - 環境管理責任者を任命 - 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 - 環境経営目標・経営計画書を承認 - 代表者による全体の評価と見直しを実施 - 環境活経営レポートの承認
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 - 環境経営目標・経営計画書を確認 - 環境活動の取組結果を代表者へ報告 - 環境関連の内部/外部コミュニケーションの窓口 - 環境経営レポートの確認
環境事務局	- 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 - 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 「環境関連法規等取りまとめ表」の作成 「環境関連法規等取りまとめ表」に基づく順守評価の実施 - 環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 - 環境経営の実績集計 - 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けとEA21地域事務局への送付)
部門長	- 自部門における環境経営システムの実施 - 自部門における環境経営方針の周知 - 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 - 自部門に関連する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 - 特定された項目の手順書作成及び運用管理 - 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置
責任者	- 部門長の指示に従い、環境経営システムを各従業員へ周知・徹底させる。 - 部門長の補佐
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

環境経営目標とその実績

I 過去の実績値

環境負荷		項目	内容	単位											排出係数
					2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
					1～12月	1～12月	1～12月	1～12月	1～12月	1～12月	1～12月	1～12月	1～12月	1～12月	
二酸化炭素排出量	1	電力	電力使用量	kwh	87,740	85,285	79,370	73,646	75,366	74,883	79,021	79,603	86,826	85,785	0.496
			CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	43,519	42,301	39,368	36,528	37,382	37,142	39,194	39,483	43,066	42,549	
			備考												
	2	化石燃料	灯油	L	8,075	9,519	9,532	10,875	9,634	6,621	7,466	6,632	8,060	9,172	2.492
			LPG	kg	268	284	278	284	295	247	273	301	310	299	3.000
			ガソリン	L	18,702	18,689	19,575	18,961	18,575	17,026	16,105	16,999	16,494	17,334	2.322
			軽油	L	7,818	5,906	4,807	5,196	5,726	4,235	3,849	4,097	2,491	2,391	2.580
			CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	84,523	83,207	82,443	85,386	82,798	67,701	66,748	67,471	65,741	70,172	
			備考												
廃棄物	3	一般廃棄物	全体	t	6.7	7.9	6.8	6.1	6.2	5.6	6.8	6.3	6.0	5.2	
			備考												
	4	産業廃棄物 リサイクル率	全体	%	98%	86%	93%	91%	95%	91%	91%	89%	95%	95%	
			備考												
排水量	5	水使用量	全体	m ³	1,439	1,380	1,411	1,399	1,406	1,255	1,409	1,479	1,552	1,330	
リサイクル部品の使用	6	-	全体	%	129	86	90	102	102	89	91	グリーンポイント	グリーンポイント	100	
			備考									5,839kg-CO2	2,567kg-CO2		
化学物質	7	定期点検	トルエン（全体）	-											
					OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	
			キシレン（全体）		OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	
			エチルベンゼン（全体）		-	-	-	-	-	-	-	OK	OK	OK	
エコカー販売比率	8	エコカー販売比率	全体	%	72%	70%	78%	76%	67%	64%	68%	66%	63%	65%	
			備考		年間累計										

※代車燃料使用量含む

環境経営目標とその実績

Ⅱ 中長期の環境経営目標

※SASはスズキアリーナサンワーズ柏崎拠点

基準年度		2016-2021:2014年度		2022~:2020年度					
環境方針	環境目標		対象サイト	単位	基準年度	目標値			
					2020年度	2022年度	2023年度	2024年度	
					1~12月	1~12月	1~12月	1~12月	
二酸化炭素排出量削減	1	2020年度を基準として、2024年度末までに、電力の消費に伴う二酸化炭素排出量を1.5%削減する。→2023年~2020年度基準を維持に変更	全体	kg-CO ₂	39,195	38,999	39,195	39,195	
			本社		26,373	26,241	26,373	26,373	
			SAS		12,821	12,756	12,821	12,821	
		削減目標		%		0.5%削減	2020維持に変更	2020維持に変更	
	2	2020年度を基準として、2024年度末までに、営業車・サービスカーの燃料（軽油＋ガソリン）及び灯油、LPGの消費に伴う二酸化炭素排出量を1.5%削減する ※1	全体	kg-CO ₂	59,768	59,468	59,170	58,871	
			本社		39,845	39,645	39,446	39,247	
			SAS		19,923	19,823	19,723	19,624	
		削減目標		%	※計算上の誤差有	0.5%削減	1.0%削減	1.5%削減	
廃棄物排出量削減	3	2020年度を基準として、2024年度末までに一般廃棄物の可燃ゴミを1.5%削減する。	全体	kg	6,849	6,814	6,780	6,746	
			本社		6,262	6,230	6,199	6,168	
			SAS		587	584	581	578	
		削減目標		%	※計算上の誤差有	0.5%削減	1.0%削減	1.5%削減	
	4	2010年度から産業廃棄物のリサイクル率（重さ）を90%にし、維持する。	全体	%	97%	90%	90%	90%	
			リサイクル率目標						
節水	5	2020年度を基準として、2024年度末までに、水道水使用量を1.0%削減する→2023年~2020年度基準年度維持に変更	全体	m ³	1,409	1,404	1,409	1,409	
			本社		1,073	1,069	1,073	1,073	
			SAS		336	334	336	336	
		削減目標		%	※計算上の誤差有	0.3%削減	2020維持に変更	2020維持に変更	
	6	リサイクルしやすい部品を限定して、その部品のリサイクル部品使用比率を90%とする。	全体	%	-	-	90%	90%	
						-	-	-	
化学物質量の管理維持	7	化学物質使用量を管理する。	全体	kg	-	管理維持	管理維持	管理維持	
エコカー販売比率	8	エコカー販売比率を上げる。	SAS	%	68%	60%以上維持	60%以上維持	60%以上維持	

※1 2013年の目標設定より代車分を除く実質使用量での比較とする
電力は東北電力2021年度のCO2実排出係数を採用。(0.496kg-co2/kwh)

環境経営目標とその実績

Ⅲ 2023/1/1～2023/12/31 数値実績

※全体数値を比較

環境経営目標		項目	内容	単位	基準年度	目標値	実績値	排出係数	評価
					2020年度	2023年度	2023年度		
					1～12月	1～12月	1～12月		
二酸化炭素排出量	1	電力	電力使用量	kwh	79,021	78,626	79,021	0.496	×
			CO2排出量	kg-CO2	39,195	38,999	39,194		×
			備考				※計算上で実績誤差有		
	2	化石燃料 ※代車除く比較	灯油	kg-CO2	18,605	18,419	22,856	2.492	×
			LPG	kg-CO2	818	810	898	3.000	×
			ガソリン	kg-CO2	30,409	30,105	31,851	2.322	×
			軽油	kg-CO2	9,930	9,831	6,169	2.580	○
			CO2排出量	kg-CO2	59,768	59,170	61,780		×
			備考				※計算上で実績誤差有		
	CO2総排出量			kg-CO2	98,963	98,169	100,974		×
廃棄物	3	一般廃棄物	全体	kg	6,849	6,780	5,237		○
			備考						
	4	産業廃棄物 リサイクル率	全体	%	97%	90%	95%		○
			備考		重量比で計算				
排水量	5	水使用量	全体	m³	1,409	1,409	1,330		○
			備考						
リサイクル部品の使用	6	リサイクル部品使用率	全体	%	-	90%	100%		○
			備考						
化学物質	7	使用量の把握と 適正管理	トルエン	Kg	-	定期的な点検	○		○
			キシレン		-	定期的な点検	○		○
			エチルベンゼン		-	-	○		○
エコカー販売比率	8	-	全体	%	-	60%	65%		○
							※年間累計		
						達成	未達成		

※ 電力は東北電力2021年度のCO2実排出係数を採用。(0.496kg-co2/kwh)

環境経営計画の内容・実績と評価・次年度の取組

2023/1/1～2023/12/31 取組結果と評価・次年度の取組内容

I 総評

今年は、昨年の是正処置を踏まえ、

『電力に伴うCO2削減量を2020年度の数値維持』『水道水の使用量を2020年度の数値維持』

『リサイクル部品使用に関して明確にする』

の3点を変更し、環境経営目標達成に向けて挑んだ年となった。

ただ、依然、コロナ禍が続き、コロナ感染拡大防止の為、換気の徹底やマスク着用による熱中症対策等を行いながらの活動になったことや、酷暑・厳冬といった環境にも左右される難しい年度になった。

そんな中で、目標8項目中6項目は達成もばったものの、やはり空調設備に関係する『電力に伴うCO2削減』『化石燃料による二酸化炭素礎排出量』が目標未達成となってしまった。

これはハード的な環境活動への投資がないことが少なからず影響しているといえる。ただこの未達成の2項目も含め、月々の数字を朝礼等で確認しながらエコアクションへの取組の社員の意識の高を継続させているからこそこのような成果でありが上がっていることは事実であり、現場の創意工夫によるものが大きい。

II 項目別取組内容・結果と評価

①電力 総合評価 ×

【行動計画】節電運動展開 不要照明の消灯 クールビズ/ウォームビズの実施による空調調整 SAS拠点でのMIX空調管理,間引き照明継続,作業効率を上げて残業時間の減少,照明設置の工夫

【今年度集中取組内容】現場の照明設置の工夫とアリーナ拠点の空調バランスの模索

総評通り、コロナ禍の影響（換気や密回避のための部屋割り等）と、酷暑・厳冬といった環境に左右され、空調機器の使用による影響が大きく出たことが大きな要因といえる。基準年度を2020年度水準維持にしたものの未達成未達成となったのはそのあたりの影響が大きいだろう。照明の工夫の取組や残業減少させ、効率よい作業への取組はできている。

アリーナ店においては効率の良い空調への設備投資、工場のオールLED化もできている。

②燃料 総合評価 ×

【行動計画】エコ運転、作業機械の効率運転の心掛け ウォームビズの実施 SAS拠点での灯油での暖房空調の削減、アリーナ拠点のエアコンをバランスよく活用。

【今年度集中取組内容】アリーナ拠点のエアコンを効率よく活用して灯油の使用量を削減する

自社で使用するサービスカーが、軽油→ガソリンにシフトしていること、またシフトした車がエコカーになってきていること。本社においては廃油ストーブの導入による灯油の削減、スズキアリーナ店においては空調システムのベストミックスを模索と色々取組んできたが、年間を通して未達成となってしまった。

コロナウィルス感染拡大防止のための対策（換気等）や厳冬もあり、空調の効率化をなかなか勧められない中で、その影響が出てしまったと思われる。

他に、各々の日々のエコ運転への心がけ、燃費記録による意識なども、継続されているが、環境に左右される部分が大きい。

環境経営計画の内容・実績と評価・次年度の取組

2023/1/1～2023/12/31 取組結果と評価・次年度の取組内容

Ⅱ 項目別取組内容・結果と評価

③一般廃棄物 評価 ○

【行動計画】可燃ゴミを削減,木材廃棄物の薪化

【今年度集中取組内容】木材廃棄物の薪化,詳細分別を

1年を通して、目標をほぼ達成することができた。(基準年比約20%以上削減)

分別の徹底、木材廃棄物の薪化等は進んでいるので、このままの取組を続けていく。

今後も、工場内の整理整頓や設備の配置変更,設備投資があるときは可燃ゴミも増大するので,その時は特に分別を進め、可燃ごみの削減を心掛ける。

④産業廃棄物 評価 ○

【行動計画】再資源化促進、分別、汚泥の削減

分別を詳細に行なうことにより、リサイクル率も目標を達成することができている。汚泥の減量化も引き続き進めている。

⑤水使用量 評価 ○

【行動計画】工場清掃時、洗車時の節水,ストップノズルの有効活用

年当初に、各部署、ストップノズルの点検と、洗車時の節水意識をを行った成果がでて、基準年度5%以上削減することができた。

⑥リサイクル部品 評価 ○

【行動計画】リサイクル使用する部品を明確にし、リサイクル部品使用比率をあげる。

セルモーター・ダイナモ・ミッション・エンジン・チャンバー・エキスパンダの6項目部品でのリサイクル部品（リビルト品）率を90%にするという明確な目標を策定し取組んだ。結果的に100%使用という成果となっている。

環境経営計画の内容・実績と評価・次年度の取組

2023/1/1～2023/12/31 取組結果と評価・次年度の取組内容

Ⅱ 項目別取組内容・結果と評価

⑦化学物質の使用量 数値管理 ○

【行動計画】数値管理と化学物質管理の徹底

数値管理に加え、化学物質管理表を2013年後半から作成し、管理している。また2014以降SDSシートの設置も徹底できている。

⑧エコカー販売比率 評価 ○

【行動計画】積極的にエコカーを販売していく

エコカーとは『低燃費かつ低公害車かつエコカー減税対象車である』と再定義し、取り組んできた。弊社が環境という側面から社会貢献を考えると、エコカーを販売していくことは使命であるともいえる。そのような観点から、エコカーの販売と共に、安全技術搭載車の販売も積極的に進めていく。

Ⅲ 来年度の取組内容

- ①電力の削減に関して:現状通り照明の工夫に継続して心がける。また空調に関しては化石燃料での空調管理とのベストミックスを模索することと、アリーナは、設備投資した効率よい空調機器、照明を上手に使用していくこと。また補助金情報を活用し、設備投資の模索をしていく。
- ②化石燃料の削減: アリーナのエアコンをバランスよく活用して灯油の使用量を削減する。(継続)
また補助金情報を活用し、設備投資の模索をしていく。
- ③一般廃棄物の削減: 引き続き木材廃棄物を薪化して利用する。(継続) また分別も心掛ける。
- ④産業廃棄物リサイクル率: 引き続き分別を徹底する。汚泥の減量化も進める。(継続)
- ⑤水使用量の削減: ストップノズルの総点検。洗車時の節水意識の強化。
- ⑥リサイクルパーツ使用: 2023年策定した部品のリサイクル比率を90%維持していく。
- ⑦化学物資の適正管理: 今までの管理の継続とPRTR物質の使用量を確認する。(継続)
- ⑧エコカー比率: 従来通りのエコカーと安全技術搭載車を積極的に販売していく。

代表者による全体評価と見直しの結果

I 代表者（EA21統括 社長）による評価と見直し

各項目目標及び成果について

環境への取組をしながら、換気等のコロナウィルス感染拡大防止を同時に行っていくという厳しい環境の中、また酷暑、厳冬の影響があり、空調設備に大きく影響する『電力消費に伴うCO2削減目標』と『化石燃料使用に伴うCO2削減目標』も2項目が未達成となった。

電気使用と化石燃料使用はそれぞれを使用した空調機器の使用方法によっても大きく左右される中、どちらの数値もにらみながら、快適で適切な空調設備の使用方法を模索していくことも重要である。

今年は目標をより地に足のついたものへ変更したが、新たな設備投資のないままに、それぞれの目標を達成するのは困難であったと反省する。

毎年のことではあるが、エコアクション21の取組は、作業効率が落ちてしまったり、本来必要なことをしなくなるということではない。必要なものは使い、無駄なものはなくしながら環境に配慮していくことが重要である。

2024年度に向けて

来年度は是正処置を取ったように、自治体の補助金動向を見ながら設備投資を模索する。

環境への取組は、毎日の積み重ねが重要である。毎月朝礼でのエコアクション21の目標と結果と要因、改善の話を継続させ、その積み重ねを大事にする。

また地域内での環境に対する取組には積極的に前向きに参加するようにする。

※環境経営方針:変更無 環境経営目標:変更有 実施体制:変更無

環境関連法規の遵守状況及び違反、訴訟の有無

I 環境関連法規の遵守状況の確認

下記の、環境関連法規の遵守状況の定期評価の結果、環境関連法規等への違反はありませんでした。（一部処分施設の確認未実施あり）

- ・廃棄物処理法
- ・新潟県産業廃棄物等の適正な処理の促進に関する条例
- ・新潟県生活環境の保全に関する条例
- ・水質汚濁防止法
- ・消防法
- ・柏崎市火災予防条例
- ・自動車リサイクル法
- ・フロン排出抑制法
- ・下水道法

II 違反・訴訟の有無

過去3年間関係当局からの違反の指摘はありません。

また、過去3年間にわたって訴訟はありませんでした。

2024年 環境経営目標設定書

基準年度		2016-2021:2014年度 2022~:2020年度							
環境方針	環境目標		対象サイト	単位	基準年度	目標値			
					2020年度	2022年度	2023年度	2024年度	
					1~12月	1~12月	1~12月	1~12月	
二酸化炭素排出量削減	1	2020年度を基準として、2024年度末までに、電力の消費に伴う二酸化炭素排出量を1.5%削減する。→2023年~2020年度基準を維持に変更	全体	kg-CO ₂	39,195	38,999	39,195	39,195	
			本社		26,373	26,241	26,373	26,373	
			SAS		12,821	12,756	12,821	12,821	
		削減目標		%		0.5%削減	2020維持に変更	2020維持に変更	
	2	2020年度を基準として、2024年度末までに、営業車・サービスの燃料（軽油+ガソリン）及び灯油,LPGの消費に伴う二酸化炭素排出量を1.5%削減する ※1	全体	kg-CO ₂	59,768	59,468	59,170	58,871	
			本社		39,845	39,645	39,446	39,247	
			SAS		19,923	19,823	19,723	19,624	
		削減目標		%	※計算上の誤差有	0.5%削減	1.0%削減	1.5%削減	
廃棄物排出量削減	3	2020年度を基準として、2024年度末までに一般廃棄物の可燃ゴミを1.5%削減する。	全体	kg	6,849	6,814	6,780	6,746	
			本社		6,262	6,230	6,199	6,168	
			SAS		587	584	581	578	
		削減目標		%	※計算上の誤差有	0.5%削減	1.0%削減	1.5%削減	
	4	2010年度から産業廃棄物のリサイクル率（重さ）を90%にし、維持する。	全体	%	97%	90%	90%	90%	
節水	5	2020年度を基準として、2024年度末までに、水道水使用量を1.0%削減する→2023年~2020年度基準年度維持に変更	全体	m ³	1,409	1,404	1,409	1,409	
			本社		1,073	1,069	1,073	1,073	
			SAS		336	334	336	336	
		削減目標		%	※計算上の誤差有	0.3%削減	2020維持に変更	2020維持に変更	
	6	リサイクルしやすい部品を限定して、その部品のリサイクル部品使用比率を90%とする。	全体	%	-	-	90%	90%	
						-	-	-	
化学物質量の管理維持	7	化学物質使用量を管理する。	全体	kg	-	管理維持	管理維持	管理維持	
エコカー販売比率	8	エコカー販売比率を上げる。	SAS	%	68%	60%以上維持	60%以上維持	60%以上維持	

※1 2013年の目標設定より代車分除く実質使用量での比較としている。

電力は東北電力2021年度のCO2実排出係数を採用。(0.496kg-co2/kwh)

取り組んだ社会環境活動

①（社）日本自動車整備振興会連合会のCO2排出量調査資料提出

2023/3/

②「柏崎市クリーンデー」に伴う会社周辺清掃（クリーン社会貢献活動）

2023/6/3 サンワーズ本社、スズキアリーナサンワーズ柏崎周辺を朝礼前に清掃。



③全市一斉地震訓練参加

2022/7/16

④新潟県エコ事業所表彰制度継続

2023/5/31

④柏崎市省エネモニター事業参加

2023/2/